

〇〇新聞社 御中

【PC による紙面制作クラウド・サービスのご提案】
投資を最小限に作業効率アップ、さらに制作体制の縮小も可能

【ご提案に当たって】

株式会社新聞制作センター

代表取締役 小田部 亨

otabe@seisaku-center.co.jp

新聞制作センターは、これまでの 30 年間、多くの新聞社と編集・制作分野で信頼関係を構築してきました。一般紙面から企画特集の立案から取材、紙面制作までを一体としてできる会社としてご活用いただいています。これまでの長い経験を活かした新たな取り組みをスタートいたします。

新たなメディアの加速度的発展や読者層の高齢化など、新聞社の現状は大変厳しいことは規模の大小や読者ターゲットの違いなど関係なく、全ての新聞社が直面しています。しかし「紙」は無くなることはありません。

新聞は「**象徴としての紙**」として存続していくでしょう。

では、その「**象徴としての紙**」は新聞社の経営に貢献してくれるのでしょうか。残念ながら、それは難しいと言わなければなりません。そうであるならば、経営的な視点から言えば「できるだけ経費を抑えた制作・印刷体制の構築が急務」となります。

今回、ご提案させていただくクラウド・サービスは、弊社が蓄積してきた紙面制作のノウハウを独自に開発したシステムとクラウド・サーバーを組み合わせた制作システムです。制作業務への投資を抑え、作業を効率化させ、さらにクラウド・システムに紙面データを保存・共有しているため、災害時のシステムダウンや通信網トラブルなどのリスクを回避することができます。さらに、貴社と弊社が共同しての紙面制作作業が可能ですので、貴社の制作部門の人員を大幅に削減することが可能です。

つまり、制作部門で削減された人材を、取材やインターネットなど時代から求められている収益部門へと配置転換することが可能となります。

*印刷や特集号の紙面づくりなどシステム以外の問い合わせもお気軽にお問い合わせください

新聞制作センター HP www.seisaku-center.co.jp

紙面制作体制の画期的なチェンジをご提案

InDesign のクラウド・サービスを導入しましょう！ 紙面制作システムを新聞制作センターと共有するメリットを

◎今後のシステムに関する投資は PC のみ！

➡独自開発した組版支援ツールはご自由にお使いいただけます。さらに災害などのトラブル時の紙面データはクラウド・システムによって何重にもバックアップされます。平常時の紙面制作作業は組版システムとクラウド・サーバー内に組み込まれている独自の組版支援ソフトにアクセスしながら実施します。

手元の PC には組版ソフト InDesign だけで充分。より効率的に紙面体裁を整える組版専用ソフトは新聞制作センターがご用意します。

◎新聞制作センターが生み出した独自の紙面制作支援ソフトを使い放題！

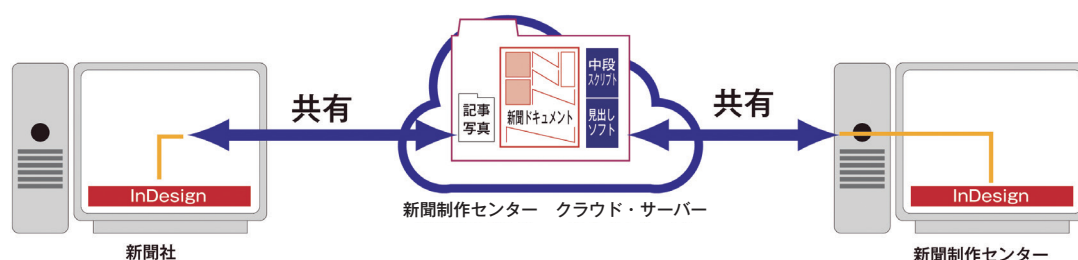
➡制作現場での生産性・効率性・紙面レベルは大幅にアップされます。

◎停電・災害時のリスクは解消！ 紙面データはしっかり守られます！

➡クラウド・サーバーによって何重にも保護された紙面データは、貴社と新聞制作センター以外はアクセスできません。災害などで、仮に貴社システムが使用できなくなった場合でも、クラウド・サーバーで紙面データを共有化している新聞制作センターが、全ての作業を代行することも可能です。

◎紙面制作（整理・組版）部門の人員の効果的配置転換が可能に！

➡紙面データとシステムを共有する新聞制作センターに徐々に紙面の整理&制作業務を拡大することで、制作部門の人員を今後の経営に重要な業務に配置転換することができます



【次頁にクラウド・サービス導入へのケース事例を掲載】

【紙面制作クラウド・サービスの種類と作業手順】

- 1：クラウド・サービスの基礎知識
- 2：クラウド・サービスの種類と作業手順
 - ①紙面制作の全面委託
 - ②自社と新聞制作センターの共同紙面制作
 - ③自社で全紙面を制作
- 3：時間と費用

1：クラウド・サービスの基本知識

クラウド（クラウド・コンピューティング）とは、インターネットなどのネットワーク経由でユーザーにサービスを提供する形態のことです。

クラウド（cloud）は直訳すると「雲」を意味します。なぜ「雲」という単語を使うのか、定説があるわけではありません。ただ、以前よりネットワーク図を雲であらわすことが多かったことや、ユーザーがソフトウェアやデータの物理的な保存場所（サーバーの設置場所）を意識することなく、「雲の中に隠れたコンピューターから提供されるサービスを利用する」というイメージからきているのではないかとされています。

本サービスでは、弊社が設置したクラウド・サーバーの中に紙面制作に必要なものが入っています。さらに日付・面数毎にフォルダーが設定されており、まず、出稿フォルダーに原稿・写真・イラストなどの素材を出稿いただくことから紙面制作がスタートします。

2：クラウド・サービスの種類と作業手順

いずれのケースでも各面の紙面制作進捗状況をひと目で把握できる進行管理画面を用意します。

①紙面制作の全面委託

貴社はクラウド・システムの中に設定される「●月●日付け」「●面」の「出稿」フォルダーに紙面制作に必要な素材（原稿、写真、エトキ、イラスト、表など）を出稿するだけです。

弊社はタイムスケジュールに沿って制作作業を実施して「初校」フォルダーに大刷り情報＝PDFを入れます。

- ・その後はご希望によって

(1)クラウド・システム内で校了まで

貴社はPDFをプリントして赤字を入れ、再びPDFにして「初校」フォルダーに戻す。その後何校まで実施するかを決め、「再校」「3校」「校了」などのフォルダーを用意します。

【作業手順の詳細は別紙 1 をご覧ください】

(2)クラウド操作に慣れない&いつものように

初校段階からファックスなどを利用して校了まで持って行くやり方も可能です。

②自社と新聞制作センターとの共同紙面制作

紙面の一部は貴社が制作。他の面は新聞制作センターに委託するケースです。

このような作業を実施するためには貴社はPC Windows10、Adobe Creative Cloud などいくつかのオペレーター用ソフトを用意していただきますが、新聞組版という特殊な組版技術に関するソフトなどはクラウド・システム内に用意されています。しかしそれらを活用する技能の習得が必要となります。

* 弊社が操作中の紙面のファイルにはアクセスできません。これは同時に紙面を操作するトラブルを避けるための処置です。

③自社で全紙面を制作 制作システムの更新をお考えの場合

この場合は、クラウド・システム使用料金のみとなります。

また、何らかの事情で新聞制作センターに紙面制作を依頼いただくことも可能ですが、日常的に制作依頼をいただく場合より割高となります。

3：作業開始までの時間と料金

『徐々に移行』がベター

一般的には、紙面制作をアウトソーシングする場合は、発注側も受注側もリスクを低くするために『徐々に移行する』がベターだと考えます。

具体的には、動きの少ない紙面づくりから発注して、徐々にその他の面に拡大させます。

必要なシステムは InDesign と一般的なソフトのみ

30 年におよぶ経験と 40 紙を超える紙面づくりの実績から積み重ねてきた紙面づくりのノウハウと支援ツールはクラウド・システムの中に揃えてあります。ご自由にお使いください。

【いずれのケースでも無料で提供するソフト】

◎中段発生スクリプト

◎自動見出し作成ソフト（予定）

テキストファイルを見出しの形に生成して InDesign ファイルと EPS ファイルに書き出します

◎原稿出稿エディター（予定）

ひとつのテキストファイルに書き込んだ 仮見出し、本文、絵解きをバラバラに分割し、それぞれにファイルネームをつけて指定のフォルダに送りだします

【料金について】

これまでの経験から、お客さま新聞社は紙面制作についても「歴史と個性」があります。

その特性を引き継ぐためには時間が必要なこともあります。従って一概に料金を設定することはできません。よく話し合うことから始めます。下記①の項目と料金は、さまざまな条件によって変動するものではありません。基本料金です。下記②の項目は、整理・組版の平均料金範囲とお考えください。

①基本料金

サーバー使用料.....	25,000 円（月）
PC・InDesignでの紙面制作教室.....	50,000 円（1日当たり）
（日数はご相談の上。交通費・宿泊費は別途）	
貴社仕様 特注 InDesign テンプレート.....	500,000 円

②組版料金

ブランケット

整理・組版	8,000 円～ 20,000 円（1 ページ当たり	校了まで）
組版のみ	5,000 円～ 10,000 円（1 ページ当たり	校了まで）

タブロイド

整理・組版	5,000 円～ 10,000 円（1 ページ当たり	校了まで）
組版のみ	3,000 円～ 7,000 円（1 ページ当たり	校了まで）

インターネット用データ変換 料金は話し合いにより決定します。

紙面制作の全面委託の場合

お客様が制作時に使用するお客様の紙面サイズに合わせた InDesign のテンプレートは無料で用意します。

自社と新聞制作センターとの共同紙面制作

および自社で全紙面を制作 制作システムの更新をお考えの場合

必要なシステムは InDesign と一般的なソフトのみです。お客様がご用意ください。

移行までの期間については、最短で1カ月を要します。リスク低減のためにも「徐々に移行」をお勧めしています。さまざまな条件が発生すると考えられます。話し合いで決めていきたいと考えています。

料金は前記【料金について】に記載されている通りの金額となります。

【別紙 1】

クラウド・システムを活用して
紙面制作を全面委託した場合の作業手順

【新聞社の作業 = ◎】

【新聞制作センターの作業 = ●】

【◎】 日付・面数毎に出稿（原稿、写真、イラスト）



整理・組版

【●】



紙面データを日付・面数フォルダー内の「初校」【●】
フォルダーに紙面を PDF データとして収納



【◎】 初校データをフォルダー内の「初校」から、PDF
をゲラ出力してチェック



【◎】 赤字・修正指示をフォルダー内の「初校」に収納
PDF データにできない場合はファックスで送信



「初校」に基づき修正作業。終了後紙面を PDF デー【●】
タとして「再校」フォルダーに収納



【◎】 赤字・修正指示をサーバー「再校」に収納 PDF デー
タにできない場合はファックスで送信



【◎】 以降、繰り返し。何校まで繰り返すかは話し合い【●】



【◎】 校了を確認



印刷データに変換後、印刷工場に送信

【●】